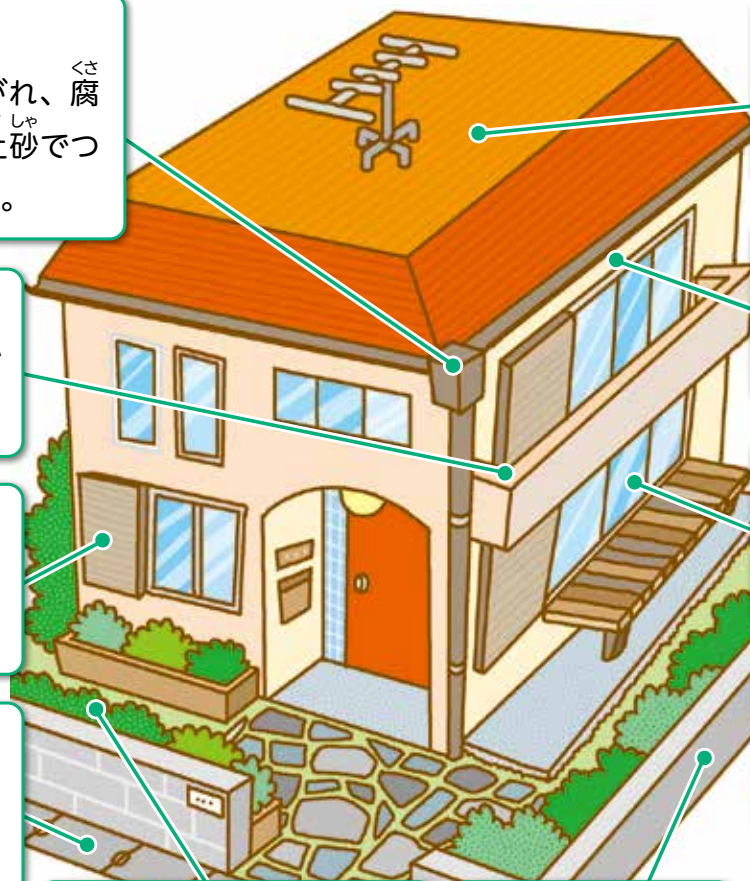


家の内外の風水害対策ポイント



雨どい

つぎ目のはずれや塗装のはがれ、腐りがないか確認。落ち葉や土砂でつまらせないように掃除しておく。

ベランダ

鉢植えや物干しざおなど飛ばしつけないものとあぶないものは室内へ。

雨戸

がたつきやゆるみなどがあれば補強する。

側溝

側溝のゴミや土砂を取り除き、雨水の排水をよくしておく。

植木

庭木の枝が敷地の外に出ないか定期的に確認する。

ブロック塀

ひび割れや破損箇所は補強する。

屋根

瓦のひび、割れ、ずれ、はがれ、トタンのめくれ、はがれがないかを確認。

外壁

モルタルの壁に亀裂はないか、板壁に腐りや浮きはないかなどを確認。

窓ガラス

ひび割れ、窓枠のがたつきはないか確認。

カーポート

風向きを考慮して影響の少ない場所に設置し、屋根や支柱を補強する。

屋内

停電に備えて懐中電灯や携帯ラジオの準備や、避難に備える。

被害が心配されるときには

1 気象情報に注意する

テレビ、ラジオなどで気象庁から発表される気象情報や、警報・注意報に注意する。



2 窓ガラスを補強する

外から板でふさいだり、×印にガムテープをはるなどして補強する。



3 むやみに外出しない

できるだけ外出をひかえる。外出する場合は、危険な場所には近づかない。



防災 記入チェック欄

こんな土地は要注意～自宅がどんな場所にあるかチェックしておきましょう～

浸水被害のあった土地

過去の豪雨で浸水被害があった土地は、今後の豪雨でも被害を受ける危険があります。洪水ハザードマップ (P24～25) で「東海豪雨実績」を確認し、自宅などとの位置関係を調べておきましょう。

土砂災害警戒区域等

傾斜30度以上、高さ5m以上の急傾斜地は、豪雨でがけ崩れなど土砂災害を起こす危険があり、「土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域」に指定されています。洪水ハザードマップ (P24～25) で確認しておきましょう。